

先日、近所のおばあさんがすいかを届けて下さった。それは十キロを超える程の見事な出来栄えのものであった。「こんなに立派なものわざわざすみません」とお礼を言いながら、あたたかな気持ちでいる自分に気づいた。

私が幼い頃は、このようなことが当たり前のように行われていた。暮らしそのものが今のように豊かではなかったこともあり、助け合い、生活する必要があったのかもしれない。しかし、それ以上に当時の人たちは「人と人とのつながり」を大切にしてきたように思う。

少子高齢化、核家族化が加速する現在、地域コミュニティの衰退が大きな問題となっている。その原因の一つは「関わること」に重きをおかなくなってしまうことにあるのではないだろうか。

確かに、一人でいれば楽だし、必要以上に気にすることはないのかもしれない。しかし、よく言われるとおり「人は決して一人では生きていけない」のである。常に誰かに支えられ、助けられ、私たちは生活していることを忘れてはいけない。

私自身もこれまでは、一生懸命働くことこそ大切であり、他のことはどうでも良いと考えていた。しかし今は、「こんなにも周りの人たちが

私や私の家を支えて下さっている」ことがあらためてわかったような気がする。何気ない関わりが、私たちの生活に大きな安心感を与えてくれているのである。

今月市内各地域で市民運動会が行われる。普段あまり話したことのない人とも、スポーツを通じて様々な話ができるチャンスである。これを機に、地域の人と大いに関わってみてはどうだろうか。きつと、新たな情報を手に入れたり、発見することがあるはずだ。

地域コミュニティをよりしっかりとしたものとし、人と人との関わりを一層強くすることによって、心のつながりが生まれる。これまで「他人」だと感じていた人を、別の「大切な人」と感じられるようになるはずである。

これらはそのまま、今いる私たちだけではなく、私たちの子孫が生きる未来をより明るいものにするにつなげるのではないだろうか。

微力ではあるが、地域に住む者の一人として、自分なりに精一杯地域コミュニティの活性化に努めていくことを決意しつつ、おばあさんなどのようなお礼をすべきかを母と相談しながら、心のこもったすいかを家族四人でおいしくいただいた。



毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

連載・青少年健全育成シリーズ 第255回

「地域コミュニティから 心のつながりを」

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ：行政管理課 秘書広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,000	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,000	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。
掲載状況につきましては、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄